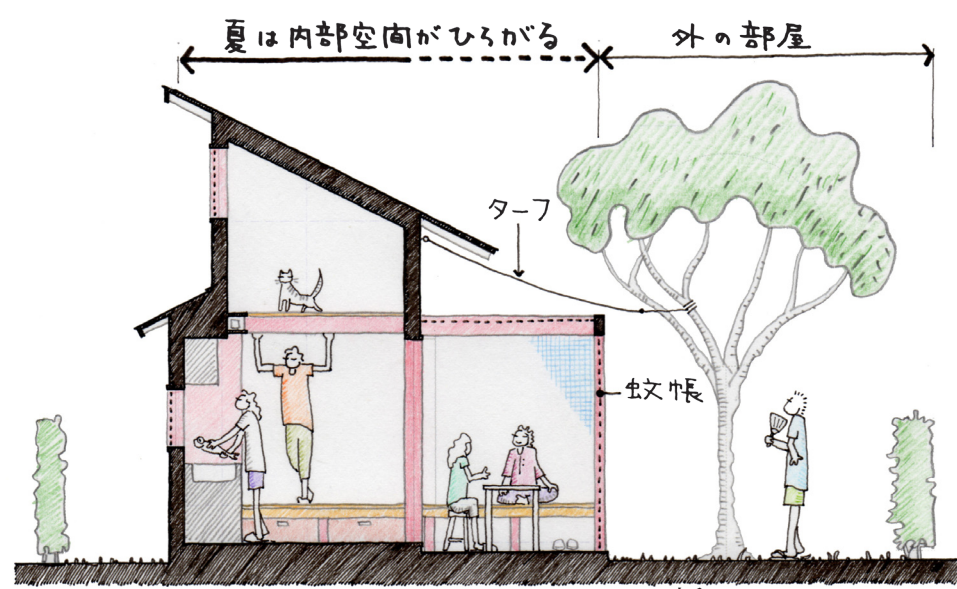
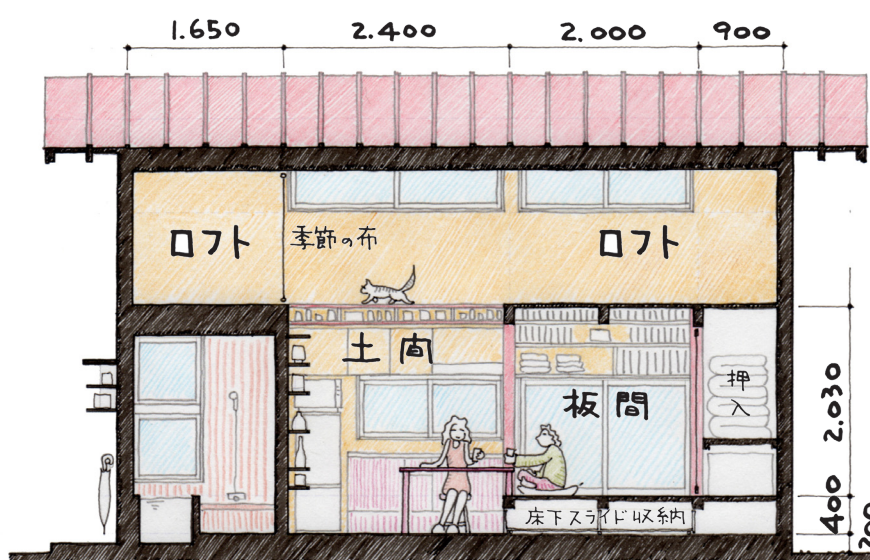


小さくて開放的な空間
開放的で変化に富んだ空間
季節と共に伸び縮みする自由自在な暮らし



夏の断面 S=1:80



秋の断面 S=1:80



冬の断面 S=1:80



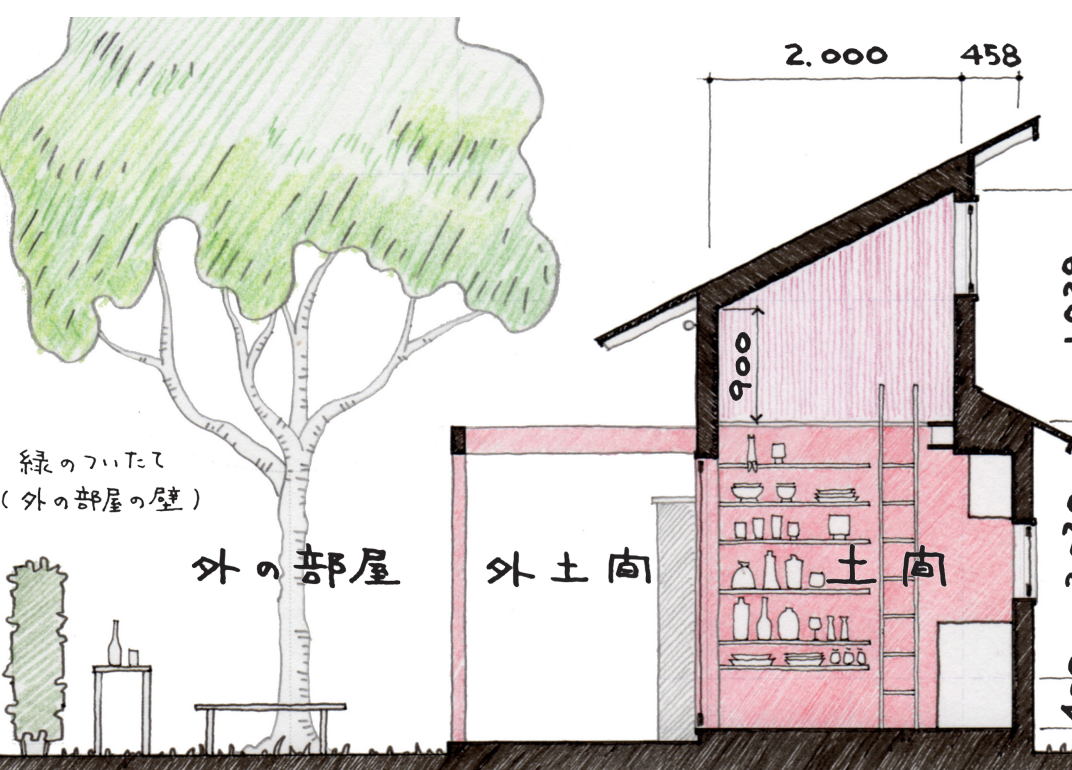
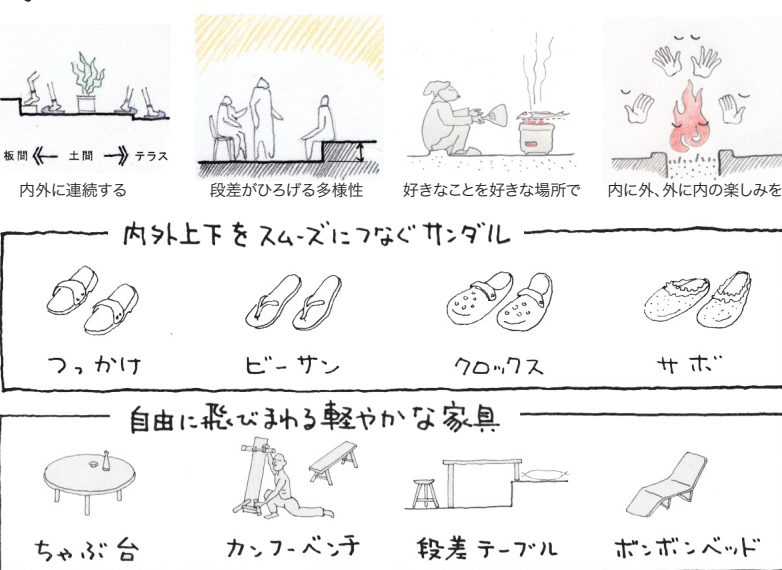
暮らしと営みが離れれば、なれた今、人々は社会の海に船出して、そのからだの表に自分の力を表現すれば足りる。世の組織から、米倉も味噌蔵も、また物置も大きい必要がない。日本にはそれらを売る商店があり、映像も音楽もゲームも本もパソコンも電話も、手のひらの中のケータイに収まった。

住まいは純粹に暮らしの為の空間になる。だが、家という器だけで完結すべきでない。新しい自然と共生し、四季の移ろいを肌で感じ、季節と共に暮らしが伸び縮みするようなのではないか。自然をダイレクトに感じる小さな空間と暮らしをひろげる工夫。内と外が連続する、季節を楽しむ気楽な家。

小さな家は、そこに小さな自然を創り出す。これから先、小さな家の小さな自然が繋がり、大きな自然へと育っていくだろう。そうするなかで再び、人の暮らしと営みが近づき、未来となっていく。

これから日本の住まいは小さいほうがいい

ズーム：大切なことと重要なアイテム



断面図 S=1:60

「小さいだけでは不十分」必要なのは環境と共生する多様な空間

平面図 S=1:60

